

教育研究会の紹介①

【更埴哲学会】

更埴哲学会は、年間3～5回の集まりで活動をしています。

毎回、道元禅師の『正法眼蔵随聞記』を読み合わせながら、それをもとにお互いの日常実践や子どもの姿から思い・感じていることをフリートークしています。

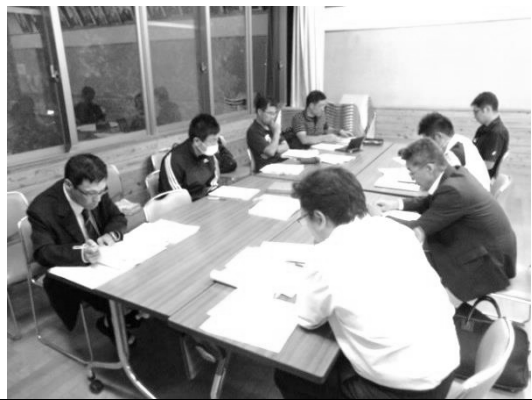
共感できる話や「えっ？」と耳を疑うようなエピソード話等々、時間の経つのを忘れてしまうほどです。気軽にご参加下さい。



【更埴算数・数学教育研究会】

本年度は、会員数33名でスタートしました。夏と冬に研修会を行ったり、各校の算数・数学の公開授業に参加させていただいたりしながら、算数・数学の楽しさを学び合っています。

また今年度は、県大会兼北信大会が更埴支部で行われます。期日は11月2日（金）です。五加小学校と埴生中学校で授業公開と研究会、その後杏泉閣にて懇親会を行います。ぜひ、たくさんの先生方に参加していただければと思います。



【更埴社会科教育研究会】

更埴社会科教育研究会では、5月26日に年度当初の定例総会を開催しました。

総会では、事業計画の承認等の後、長野県立歴史館専門主事の市川厚先生より、『学校登山の歴史』というテーマでお話ししていただき、研修会を行いました。

本研究会では、「子どもたちが『楽しかった』と振り返る社会科の授業の創造」というテーマで、小学校・中学校で、実証授業と授業研究会を行い、それをレポートにまとめて信州社会科教育研究会木曾大会に参加し、分科会で発表してご指導を受け、次年度の更埴社会科教育研究会に生かす取り組みを行っています。

また、本研究会では、学校間を越えた教師の専門性や同僚性を高める活動を行っています。

【総会での研修会の様子】



【更埴総合・生活科教育研究会】

本年度は会員17名で発足しました。4月、春の研修会では、保育園、幼稚園で生活してきた子どもたちが小学校に入学し、誰かに「してもらう」のではなく、自分で「やりたくなっていく」そして「やっていく」ことができるよう、私たち教師はどのような姿勢でかわっていけばいいのか考えました。

6月の発足会では、本研究会会長である東小学校酒井校長の話聞いて、「生活科の教師のからだ」について考えました。

8月に行う夏の研修会では「ユメセイキのうどん・おやき作り」「朝顔灯籠作り」「ヤギ乳のチーズケーキ作り」「草木染め」に取り組んできました。今年の研修会でも、私たち教師が「材の持つ魅力に触れ、材の価値を考える」ことができるような教材研究の場を設定していく予定です。



つくしを食べる



草木で染める